

令和6年能登半島地震 コープいしかわが取り組んだこと



この度の地震で被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。発災直後からコープいしかわが組合員のため、職員のため、そして地域社会の一員として取り組んだことをご報告します。(1月23日現在)

1月1日(月)にマグニチュード7.6、最大震度7となる「令和6年能登半島地震」が発生しました。犠牲となられた皆さまにお悔やみを申し上げるとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

県内全域で多くの方が被災し、特に能登地域で甚大な被害が発生しました。被災された皆さまの日常生活への影響は計り知れず、一日も早く皆さまの日常生活を取り戻すために、コープいしかわも組合員への支援、地域の一員としての支援に全力を挙げて取り組んでいます。

コープいしかわでは発災直後に災害対策本部を立ち上げ、役職員の安否確認を進めました。大変残念ながら2名の職員が帰省先で尊い命を失うこととなりました。本当に無念でなりません。心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。

災害対策本部では、のとセンターをはじめ各施設の被害状況の確認を行ってきました。また道路状況や商品の納品状況などの情報収集も同時に進め、事業継続に向けた対応・対策に現在もあたっております。七尾市、羽咋市、中能登町、志賀町は1月10日(水)から配送を再開しています。しかしながら輪島市、珠洲市、穴水町、能登町では、道路状況などから配送を見合わせており、一日も早い配送再開に向けて準備を進めています。

コープいしかわでは、現在も余震や停電、断水が続く不安な中で暮らしている皆さまに少しでもお役に立つことができるように、日本生協連やコープ北陸事業連合、お取引先様のご協力を得て、行政からの要請に応え支援物資をお届けしています。

こうした中、コープいしかわだけで取り組みを進めるには残念ながら限界がありますが、日本生協連に支援の要請を行い、福井県民生協、とやま生協をはじめ全国の生協の職員が支援に駆けつけてきています。配送を再開したのとセンターでは、コープいしかわの担当者や支援の職員が2名体制で配送することで、安全を確認しながら商品のお届けができています。

いつの日か必ず、組合員と役職員そして地域の皆さまが「笑顔」を取り戻すことができるように、皆さまと一緒に「心をつなぐ」ことを目指し、「力を合わせ」「知恵を出し合い」地域社会や組合員の期待に応えていきたいと思っております。

最後になりますが、たった一つのかけがえのない命を守ることが何より大切です。コープいしかわは、組合員、役職員、地域の皆さまの命を守ることを最優先にこれからも寄り添い続けてまいります。

生活協同組合コープいしかわ 理事長 大谷 学 (1月19日記)



宅配再開に向けて

- 1月1日(月)** 災害対策本部立ち上げ 職員の安否確認や被害状況の把握に努めました。
- 1月6日(土) 7日(日)** 能登エリアの組合員へ電話連絡 のとセンターの月曜・火曜コースの組合員と、のと北部センターの組合員、内灘町の組合員へ電話をかけ、安否確認と配送中止のお詫びをしました。
- 1月8日(月) 9日(火)** 地域担当者が訪問 のとセンターの地域担当者が組合員の安否確認とカタログ配布、道路状況の確認のため、2~3名体制で担当地域をまわり、組合員宅を訪問しました。
- 1月10日(水)** のとセンターエリアでの配送開始

カタログの配布や訪問時に、配送できなかった商品の一部である飲料水、バナナ、パン、みかんをお渡ししました。高齢であったり避難所が遠かったりなどの理由で給水所へ行けない組合員さんへは、訪問時や配送時にコープの飲料水をお渡ししました。

のと北部センターエリアでの配送再開に向けて現地調査などを進めています。

商品を届けることができず申し訳ないと思いつつも配達でした。その中でもパンをお渡しすると「本当に助かる、ありがとう」と言われ、心が軽くなります。「気をつけてね」の一言で本当に頑張ろうと思います。今こそお互いに支え合っていきたいなと思います。

のとセンター 越野 遼太郎さんの1月9日(火)振り返りシートより

県内全域の組合員さんから届く自宅前の道路状況画像

宅配事業では大雪や台風などの際に、組合員に安心して商品を受け取っていただくことや地域担当者の安全確保を目的に、組合員より自宅前の写真投稿を受け付けし、情報収集・状況把握を行っています。1月2日(火)以降、全県エリアの300名を超える「風雪害報告モニター」組合員から自宅前の道路状況を投稿いただいています。

のとセンター職員のために

被災した職員への支援として飲料水や携帯トイレ、水のいらぬいシャンプー、ボディシート、ヘルメットや衣料品をのとセンターへ送っています。コープいしかわ独自の支援制度や公的支援情報をまとめた冊子を作成し少しでも早く普段の暮らしに戻れるように支援しています。



▲ 陥起したのとセンター 断水が続いています

全国の生協の仲間から

発災直後から全国の生協から多くの励ましや支援をいただき、石川の組合員と職員を支援するため駆け付けてくれました。1月6日(土)より日本生協連の危機管理担当者が災害対策本部に常駐しています。8日(月)には福井県民生協から10名、10日(水)には日本生協連から20名の職員がのとセンターに入りました。1月15日(月)からは全国の生協から毎週約30名の職員がのとセンター・湊センターでの配送同乗や組合員への電話かけなどを行っています。



▲ のとセンターの朝礼に参加する応援者



▲ 電話対応の説明を聞く応援者の皆さま さまざまな生協の制服が並びます



▲ みやぎ生協様からの応援の色紙

支援いただいた生協(1月22日現在)

福井県民生協、とやま生協、コープさっぽろ、いわて生協、みやぎ生協、共立社、とちぎコープ、いばらきコープ、コープぐんま、コープみらい、ユニー、バルシステム山梨、長野、バルシステム千葉、バルシステム静岡、コープながの、コープあいち、コープみえ、コープしが、京都生協、大阪いづみ市民生協、コープこうべ、おかやまコープ、コープやまぐち、コープかがわ、エフコープ、コープ共済連

今後も多くの生協から支援のお申し出をいただいています

地域の一員として

災害時支援協定に基づき物資の調達

お届け日	行政名	お届け内容
1月4日(木)	金沢市	おにぎり200個、500ml飲料水5ケース
1月4日(木)	かほく市	おにぎり150個
1月4日(木)	中能登町	おにぎり1,000個、500ml飲料水45ケース
1月4日(木)	穴水町	2ℓ飲料水80ケース
1月5日(金)	七尾市	2ℓ飲料水合計260ケース
1月4日(木)	宝達志水町	2ℓ飲料水合計80ケース、ブルーシート100枚
1月5日(金)		
1月12日(金)	珠洲市	パン約6,000個、インスタントスープ約1,170ケース
1月17日(水)~	野々市市	野々市市への避難者用おにぎりとパンを毎日約100個
1月18日(木)	能登町	インスタントスープ約250ケース、ブルーシート48枚
1月19日(金)	輪島市	パン約6,000個、カセットコンロ用ガスボンベ480本

コープいしかわでは県内全都市町と災害時支援協定を締結しています。物資を宅配トラックを使用して、要請のあった市町へお届けしています。要請のあった物資以外にもコープいしかわが提供しているものもあります。



▲ 1月12日(金)朝5時に珠洲市に向けて出発 ▲ 珠洲市健民体育館に到着すると自衛隊の方が支援物資を降ろしてくれました

お届けできなかった商品をこども食堂へ

配送中止によりお届けできなかった冷蔵商品や野菜、卵といった生鮮品をいしかわフードバンク・ネットを通してこども食堂へお渡ししました。こども食堂ではフードパントリー(食料品配布)などで活用いただきました。

能登半島地震災害支援募金 受付開始

店舗では1月5日(金)から、宅配事業では1月10日(水)から「令和6年能登半島地震災害支援募金」を呼びかけています。



▲ 1月18日(木)能登町の柳田体育館へ支援物資をお届け

令和6年能登半島地震 コープいしかわが取り組んだこと

このたびの地震で被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。コープいしかわが組合員のため、職員のため、そして地域社会の一員として取り組んだことを報告します。
(2月19日現在)



全国の生協からの支援、応援

北海道から宮崎から 駆けつける生協職員

発災直後から全国の生協の職員がコープいしかわの組合員と職員のために、コープいしかわの配送応援をしてくれています。1月15日週以降は毎週約30名の職員がのとセンターに入っており、道路の状況確認やカタログ配布、配送を2名体制で行っています。



宅配事業 ~どこにいても、安心して利用が続けられるように~

穴水の一部で配送再開

1月17日(水)~

配送再開に向けて道路状況の確認



1月24日(水)~

再開希望組合員へカタログ配布



穴水町での再開に向けて、利用を希望されている176名の組合員へのカタログ配布が始まりました。道路状況の確認をしながら、配送を休止してお詫びとお見舞いの気持ちを込めてカイロや水なども一緒にお届けしました。

2月5日週~ 配送再開



2月12日週より輪島市門前町の33名の組合員への配送を再開しました。2月26日週から輪島市と能登町の一部で、3月11日週から珠洲市の一部で、配送希望の確認がとれた組合員に向けて宅配再開の準備を進めています。

震災後初めてお会いできた組合員さん。まだ断水中でお困りの様子でした。でも「簡単に気軽に食べられる商品を生協のカタログから探すのもますます楽しみになってる!」と嬉しいお言葉を言ってくださいました。応援者のトヨタ生協の岡田さんと一緒に組合員さんとたくさん話をしました。
のとセンター 飯塚 優紀さんの2月9日(金)の振り返りシートより

コープ共済 お見舞い訪問スタート

1月29日(月)~

共済加入組合員へのお見舞い訪問



▲3週間までコープ共済連と全国の生協職員70名が支援に入りました



▲訪問の様子

被災したエリアの共済加入組合員約2,500世帯の訪問を進めました。訪問では、被害状況の確認とお見舞い金の手続きなどと併せて、カイロやコーすけのタオルなどをお渡ししています。

会話の間はこらえていらっやったのか、折り鶴をお渡しした途端、せきを切ったように涙を流されお礼を言っていました。一人でも多くの方を訪問してお見舞い金制度について説明したいと思います。 お見舞い訪問応援職員の日報より



▲応援職員と一緒に朝礼



▲コープいしかわの職員と応援職員の2名体制で配送

門前町にカタログの配布・回収に無事行くことができました。途中で、通行止めの迂回などがあって不安でしたが、同乗いただいたコープえひめの林さんに励まされて、無事終了できました。とても心強かったです。
のとセンター 坂井 宏人さんの2月8日(木)の振り返りシートより

同乗することで、多少でもコープいしかわの担当者さんの負担を減らすことができれば、組合員さんへの対応につながると思いました。
京都生協 応援者活動日報より

支援いただいた生協(2月9日現在)
福井県生協、とやま生協、コープさっぽろ、コープあおもり、コープあきた、共立社、いわて生協、みやぎ生協、バルシステム福島、とちぎコープ、コープぐんま、いばらきコープ、バルシステム山梨、長野、バルシステム千葉、バルシステム静岡、コープみらい、ユウコープ、東都生協、バルシステム神奈川、生活クラブ連合会、コープデリにいがた、コープながの、コープぎふ、コープあいち、トヨタ生協、コープえひめ、東海コープ、コープしが、京都生協、大阪いずみ市民生協、おおさかバルコープ、大阪あがわ市民生協、ならコープ、コープこうべ、コープCネット、鳥取県生協、しまね生協、生協ひろしま、おかもよコープ、コープやまぐち、とくしま生協、コープかがわ、こうち生協、エフコープ、生協くまもと、コープみやぎさ、コープ共済連、日本生協連

「がんばろう」「負けなくて」
寄せられるエール
全国の生協からコープいしかわの組合員と職員に向けて、温かい寄せ書きやメッセージが贈られています。



のとセンター職員と応援職員



色紙やメッセージはのとセンターに掲示しています

地域とともに ～地域の一員としてコープいしかわができることを～

小松市の1.5次避難所へ

1月26日(金)に1.5次避難所となっている小松総合体育館へ小松センターより物資をお届けしました。お届けした商品は、賞味期限の長いパンやカップ麺の他、粉末の緑茶スティックや野菜ジュースなども含まれており、避難所のニーズと調達できる商品を調整して選定したものです。



産業展示館へパン4,000個

石川県と締結している災害時支援協定に基づいて2月5日(月)、支援物資の集積所となっている石川県産業展示館4号館へロングライフパン約4,000個を納品しました。

粟津温泉の2次避難所へ
昼食と夕食を

石川県からの要請を受け、2月8日(木)から粟津温泉のホテルで2次避難している方約70名分の食事をコープいしかわで調達し、お届けしています。朝食は長期保存できるパンを事前にお届けし、昼食はコープこまつからいじ〜便でお弁当を、夕食は小松センターから夕食宅配のお弁当をお届けします。



▲ 昼食を届けるコープこまついじ〜便職員



▲ 夕食を届ける小松センター職員

珠洲市で避難所までの物資輸送支援

珠洲市で支援物資の拠点となっている健民体育館から周辺の避難所への物資輸送を自衛隊が担っていますが、2月13日(火)よりその一部を生協が引き継ぎ、コープいしかわの配送トラック2台で輸送支援を行っています。これにより自衛隊が他の復旧作業にあたることができるようになります。



避難所高齢者への介護職員派遣

全国の生協や生協の社会福祉法人が参加する「全国コープ福祉事業連帯機構」では、全国生協および医療福祉生協連合会に介護職員派遣を呼びかけ、毎週20名の介護職員が2月10日(土)から3週間に渡って1.5次避難所となっているいしかわ総合スポーツセンターで避難している介護の必要な高齢者の生活支援などを行っています。

全国の生協職員による災害支援チーム 能登町で炊き出しなど開始

日本生協連災害支援チームが能登町で避難所の訪問や炊き出しなどの活動を開始しました。避難所に支援物資を届けながらニーズの聞き取りや調達、炊き出しの準備と配食、今後のボランティア活動が円滑に進むよう施設の備品や整理などの活動をされています。



▲ 集会所に洗濯機をお届けしました



▲ 能登町の公民館でご飯と豚汁を作り提供

中途採用・新卒高校生の就職支援

被災により就職が困難になった2024年卒の高校生を対象に、配送と店舗職種でのエリア正規職員の募集を開始しました。勤務先は能登に限らず全配送センターと店舗が対象で、生徒が希望する勤務地を考慮して賃貸物件を準備し、住宅補助が2年間あります。同様に、被災により現在の就業先での事業継続ができない、家屋の損壊で勤務できないなどの方を対象に配送職での中途採用対応を進めています。

詳しくはこちら



組合員向け「応援ボランティア」登録&活動開始

コープいしかわ16万人の組合員の力を結集し、できることから被災者支援に取り組めるよう組合員に向けて応援ボランティアの登録を呼びかけています。

登録はこちら



2月4日(日)、輪島市から約300名が避難している山代温泉みやびの宿 加賀百万石で、教え合い講師の兵庫 美和子さんを講師に心と体をリフレッシュするプログラムを開催▶

たくさんの募金
ありがとうございます

宅配事業と店舗事業では1月上旬より支援募金の案内をしています。2月9日現在で16,559名の組合員から約2,400万円を超える募金を寄せていただいています。皆さまからの温かい善意に感謝申し上げます。



職員を支える ～のとセンター職員が安心して働けるように～

生活支援制度の説明会

ご家族や自身の家屋が被災している職員もいる中で、普段の暮らしに少しでも早く戻れるように、各種支援制度をまとめた「生活支援冊子」の作成配布の他、説明会を開催するなどしています。

必要な物資を調達

飲料水ケース、暖かい肌着やズボン、大人用のダウンジャケットなどの他、子ども用も含めて衣料を調達し、支給しています。



働ける環境を整える



▲ のとセンターに仮設の水洗トイレを設置



▲ 洗濯機を2台設置することで、職場で洗濯ができるようになりました

みやぎ生協石巻センターからのメッセージ

い物通り*日常とはかけ離れた生活をしています。おれも ほんとかかりずからね。せつ、つんとおたりずから。かんぱらつていいんぞ。みんなかんぱらつていりぞから。しかり 声を出していいぞ。おれもいいぞ！おれも早く、落ちついた生活が。おれもできるように。願っています。宮城県 東松島

私自身も津波で自宅が全壊し、あの頃は一日一日を過ごすことで精一杯でしたが、みなし仮設の入居を経て、なんとか元の生活に戻ることができました。無理をして頑張ることがは極力避けて、一日も早く安定した生活に戻れることを願っています。

自分も経験したとはいえ、言葉もありません。どんな励ましもむなしく届いてしまっている。でも明日はやってきます。生きて生きて1分1秒を大切に過ごしてください。笑える日が必ず必ず必ずありますから。



令和6年能登半島地震 コープいしかわが取り組んだこと

このたびの地震で被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。コープいしかわが組合員のため、職員のため、そして地域社会の一員として全国の生協とともに取り組んだことを報告します。(3月12日現在)



宅配事業 どこにいても、安心して利用が続けられるように

のと北部センターからの配送再開

輪島市 能登町の一部で配送再開

2月12日(月)から輪島市門前町の組合員33名の配送を再開し、2月26日(月)からは輪島市 能登町の一部での配送を再開しました。



▲2月4回企画で954名にカタログを配布できました

「注文書書いたよ〜。生協の注文書書いてたら少くも普通の生活に戻れた気がするね」と組合員さん。そんなこと言ってくださると思ってもおらず、とても嬉しく思いました。今までと同じ日常に早く、でも少しずつ近づくといいなと思います。(のとセンター 西村 武博さんの2月22日(木)の振り返りシートより)

珠洲市で配送再開

2月26日(月)から珠洲市で再開希望組合員へカタログを配布し、3月11日(月)から配送を再開しました。



▲のと北部センター 職員と応援職員

カタログと一緒にお届けした支援品▶

一人暮らしの高齢の組合員さんで地震が発生した後、避難所にも行かず、ずっと一人で自宅で生活していたと言われました。今までのように生協の配送を再開させていただくことをお伝えすると、「久しぶりに人と話をした」と喜んでいただきました。(のとセンター 徳木 守さんの2月29日(木)の振り返りシートより)

広がる支援で心をひとつに コープいしかわの組合員と職員のために

コープいしかわ職員がのとセンター、のと北部センターで配送同乗支援

2月13日(火)より毎日13名のコープいしかわ職員がのとセンターとのと北部センターの配送同乗をしています。宝達志水町以南の地域を配送する担当者だけでなく店舗事業や本部職員が、能登の組合員や職員と接する中で感じたことや考えたことを本部署で他の職員へ発信し、今後の仕事の中で能登のために何ができるかを考えるためです。これは、全国の生協職員に能登以外の4つの配送センターの配送を担っていたことで実現できています。



▲同乗するコープこまつの岡山店長

地域とともに 地域の一員としてコープいしかわができることを

仮設住宅入居者へコープの調味料をセットで

2月29日(木)、能登町の応急仮設住宅に入居する66世帯へコープの調味料が入った商品セットを日本生協連のご協力を得て提供しました。少しでも安心して生活を始められるように、暮らしの必需品である調味料をセットにしました。能登町以外にも仮設住宅の建設を進めている自治体と調整を進めていきます。



▲コープのエコバッグに入れてお届け

災害時支援協定に基づく自治体からの要請対応

野々市市	野々市市への避難者用おにぎりやパンを約80個、毎日お届け
石川県	津津温泉の2次避難所2か所へ約35名分の朝食の3食を毎日お届け



▲袋詰めは特例子会社ハートコープいしかわで行っています



▲調味料のセットを入居前のお部屋にメッセージを添えてお届け

輪島市で約4,000食分の朝食用食品をお届け

2月26日(月)から輪島市約2,300食、門前町約1,300食、町野町約400食、合計4,000食のパンや野菜ジュース、インスタントスープといった朝食用の食品を毎日お届けしています。今後、牛乳や無調整豆乳などバリエーションを増やしていきます。

珠洲市で避難所までの物資輸送支援

物資拠点となっている珠洲市健民体育館から避難所への物資輸送支援を継続しました。2月13日(火)から3月8日(金)までコープいしかわ職員と日本生協連の物流子会社シーエックスカーゴ社員が配送トラック2台で対応しました。



▲朝8時の集品作業から始まります

組合員と子ども食堂による 応援ボランティアで焼き出し

3月2日(土)、輪島市からの避難者が過ごす額谷ふれあい体育館(金沢市)で、コープいしかわ組合員による応援ボランティアと笑顔の子ども食堂ネットワークGOHANさんと協力して焼き出しをしました。



▲おにぎりやみそ汁、野菜炒めを150食程度調理しました

組合員ができることから復興支援に取り組み応援ボランティア登録募集中! 現在145名(3月15日現在)が登録

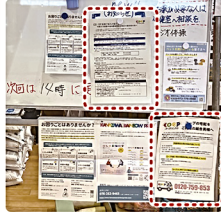


コープ共済 お見舞い訪問

2月12日(月)から全国の生協とコープ共済連の職員による20チーム(2名1組)体制で、羽中市や志賀町での再訪問も含め七尾市と穴水町を中心に、コープ共済を契約している組合員のお見舞い訪問活動を実施しました。避難している組合員を探して輪島市で29か所、穴水町で26か所の避難所を訪問しました。



▲避難所となっている穴水町の集会所に案内を掲示させていただきました



▲輪島市の避難所の掲示板にも「宅配利用の組合員様への案内と一緒に貼らせていただきました

訪問した職員の感想

いつもありがとうございます。CO-OP共済から災害のお見舞金をいただきました。早い対応ありがとうございます。

行政や他の保険会社の人、普段近くにいる人などには話せないような被害の状況や心情などを伝えていただくことが多く、お見舞いだけでなく、このような話を聞くことが訪問の意義なのだと考えました。



▲注文用紙に付けて出された組合員からのメッセージ

※3月号にコープえひめの記載漏れがありました。

支援いただいた生協 (2月12日~3月22日)

いばきコープ、いわて生協、エフコープ、大原いずみ市民生協、おおさかパルコープ、大原よどがわ市民生協、おかやまコープ、京都生協、コープあいち、コープあおもり、コープあきた、コープえひめ、コープきふ、コープぐんま、コープこうべ、コープさっぽろ、コープしが、コープデリにいがた、コープデリ連合会、コープながの、コープみえ、コープみらい、コープみらい(埼玉)、コープみらい(千葉)、コープみらい(東京)、生活クラブ神奈川、生活クラブ東京、生活共立社、生協しほね、生協ひろしま、東郷生協、とくしま生協、鳥取県生協、とやま生協、トヨタ生協、ならコープ、パルシステム茨城、栃木、パルシステム神奈川、パルシステム群馬、パルシステム埼玉、パルシステム千葉、パルシステム東京、パルシステム連合会、福井県生協、みやぎ生協、ユーコープ、ララコープ

被災された職員はご自身のことで大変な中、親身になって組合員さんに寄り添っている姿を見て、私もできることをして少しでもお役に立ちたいと思いました。生協が配達に来てくれることを大変喜んでくれた組合員さんの姿を見て、今後も組合員さんの気持ちに寄り添いながら現場応援や本部の仕事もしていきたいと思いました。(組合員活動部 田谷 里佳さん)

全国の生協からの支援

1月には、全国の生協職員にのとセンターで配送応援をしていただきましたが、2月13日週より、湊、古府、鶴来、小松センターの計14コースの配送をさせていただいています。



▲生活クラブ東京の職員が2名体制で小松センターの配送応援

全国の生協さんから来てくださっている配送応援の方々に感謝! ありがとうございます。(野々市市 H.O.さん といらぬるおたよりより)